

輝くシルバー いなべ

平成25年1月

17
号

地域社会に輝くシルバーパワー



焼津 松風閣からの富士山（互助会親睦旅行）

撮影者／水谷 保生 氏（大安）



公益社団法人 いなべ市シルバー人材センター

本部 〒511-0428 いなべ市北勢町阿下喜 2624-2
TEL (0594) 82-1800 FAX (0594) 72-7741
E-mail inabe-sj@m3.cty-net.ne.jp
ホームページ <http://www3.cty-net.ne.jp/~inabe-sj/>



QRコード（携帯電話で見られます）▶

新年のご挨拶

公益社団法人いなべ市シルバー人材センター

理事長 近藤信義



新年明けましておめでとうございます。

皆様にはおだやかに平成25年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素は、当センターの事業推進につきまして格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。お蔭様にて事業運営も順調に推移してまいりました。

さて、昨年を振り返ってみますと、内憂外患とでも申しますか、国内外の諸般、諸情勢は、それぞれの事情や思惑が絡み合い、政治、経済、社会、環境、雇用、福祉など全てが暗中模索の様相を呈したように思います。

その様な状況下で、着々と団塊の世代も65歳に到達しております。高齢者が長年培ってきた豊かな知識、技能、経験などを活かし、新しい道に情熱を燃やす方々が増える傾向にあることから、今後は、シルバー人材センターの果たす役割も益々重要になってくることと思います。

改めて申し上げるまでもなく、センターが一丸となって「自主・自立、共働・共助」の理念を確認する。適正就業、安全就業に徹すること。そして就業先を開拓し継続させるためには、マナーの向上や技能・技術の向上が至上命題です。

我が国は既に、少子高齢化の時代に入っております。このような時にこそシルバー人材センターの本領を発揮すべく時代のニーズを見極め、体制を充実させることが肝要かと考えます。

昨年は前理事長が逝去され、当センターにとりまして大変不幸なことを経験いたしました。何事にも終始熱心に取り組まれた意志をしっかりと受け継ぎ、センター発展のために努めることが大切と肝に銘じ、気を引き締めている次第です。

東日本大震災以来「絆」という言葉がよく使われます。仕事をする時にも「絆」を大切に、お蔭様の気持ちと思いやりの心で、共働・共助の仕事が続けられることを願い、夢のある一年にしたいと思っております。

謹賀新年 本年もよろしくお願ひ申し上げます

(順不同・敬称略)

役員

理事長	近藤信義	理事	杉本祐造
副理事長	瀬古清隆	理事	小林源一
常務理事	安藤博幸	理事	可児将爾
理事	片山鞠子	理事	西野香
理事	楠敏夫	監事	渡辺重弘
理事	渡邊正司	監事	山北功
理事	門脇敏男	顧問	森田勝利

職員

事務局長	安藤博幸	大安業務担当	小川善一
主任(会計庶務)	藤川裕子	事務	梅山真由美
事務	川瀬奈津美	屋外合同担当	渡部豊彦
北勢業務担当	水本一見	農業公園	森稔
藤原業務担当	藤井樹巳	バス事業担当	津田芳仁
事務	岡本なおみ		
員弁業務担当	馬場道夫		



年頭所感

いなべ総合病院 院長 水野 章

新年あけましておめでとうございます。皆さまに於かれましては明るい、穏やかな新年を迎えられましたことでしょう。

今年は巳年になりますが、巳年は十二支の六番目にくる干支で、その語源は植物に種子ができ始める時期あるいは草木の成長が極限に達し、次の生命が作られ始める時期と云われています。昨年末に我が国では衆議院の解散・総選挙が行われ、政界の再編がなされました。巳年に因んで新しい日本の種子あるいは生命が誕生し、成長の兆しが見えてくるのを期待したいものです。

さて、日本人の平均寿命は常に世界一〜二位で、先進国の中でもいち早く高齢化が進んでいる国と云われています。また世界に先だって国民皆保険制度を制定して、実行しているおかげで長寿国に貢献しているとも考えられています。世界は医療環境を良好なものにし、次に超高齢化社会を如何に乗り越えようとしているのか日本の動向を注目しています。

平成22年の我が国の65歳以上の老年人口比率は23.0%でその実数は2940万人に上ります。三重県は24.3%となっており、全国平均より若干上回っております。さらに80歳以上の高齢者は全国で800万人を超え、平成62年には100歳以上の高齢者が100万人を超えると推計されています。また出生数をみるとベビーブームだった昭和24年は270万人だったのが、平成22年には107万人と約40%に減少してしまいました。すなわち少子高齢化が拍車をかけて進んでまいります。少ない労働可人口(15~64歳)で多くの老人を養っていく時代がすぐそこに来ていることを意味しています。いったい私たちは如何に生きて社会を支えていったらよいのでしょうか？

さて、定年といえば一般的には仕事の定年を意味し、年齢で決められています。農業や商売のような自営業は年齢による定年はありません。体力の限界(すなわち体力の定年)が仕事の定年になっています。私たちの親の世代は仕事の定年が53~55歳でしたが、今は60~65歳になろうとしています。それだけ元気で長生きできるようになったからであります。しかし、65歳過ぎたら、まるで人生の定年を迎えたかのように本当に引退して良いのでしょうか？まだまだ元気で身体の丈夫なシルバー世代の方がたくさんいらっしゃいます。毎日、仕事をお願いする訳ではありませんが、皆さんの可処分時間を少しだけ有効に活用して、無理せずできる範囲で、ご自分の培ってきた能力の一部を社会に還元して頂きたいと思えます。それが体力の定年を迎えるまでできれば、多くの人に感謝されて生きる余生も意義のある人生の定年を迎えることができるでしょう。

いなべ総合病院の草取りボランティア

実施期間：4~11月 毎月1日と第3日曜日 午前8:30~11:30



就業先だより

各地区でお世話になっている就業先の紹介をします

北勢
地区

株式会社きもと 三重工場

[住所] 北勢町京ヶ野新田 450

● 沿革と概要

1979年7月に操業を開始し、1986年8月に第二工場・1992年11月に第三工場・2005年8月に第四工場を完成させ、2009年8月に第四工場を増設しました。平成24年4月現在で、従業員数245名、敷地面積106,000㎡(32,120坪)となっています。

● 近況

(株)きもとは平成24年7月2日創立60周年を迎え、いなべ市北勢町に所在する弊社三重工場はスマートフォンに代表されるフラットパネルディスプレイ用部材フィルム製品の主力工場となっています。地域との共生を目指す活動の一環として休耕地や空き家をお借りし、その保全にお役に立てればとの思いから平成23年より「きもとファームプロジェクト」をスタート、お米作りや従業員の宿泊施設、研修用として活用させていただいており更に拡大したいと考えています。今後も地域との繋がりを大切にKIMOTOは、100年企業を目指して参ります。



● 会員の声 ▶ 小高 徳夫

健康で事故の無いよう、会社に迷惑をかけるないように頑張ってお仕事したいと思います。

● 会員の声 ▶ 平野 富秋

シルバーを必要としてくれることに喜びを感じてやっています。



大安
地区

グループホーム・デイサービス あおい

[住所] 大安町大井田 2836

● 施設の概要

グループホームとデイサービスがあり、利用者のご家族の精神・体力的な負担を軽減し、日々をその人らしく過ごすことができるようお手伝いします。利用者一人一人の尊厳や希望を大切に、きめ細やかなサービスを提供します。



● 会員の声 ▶ 水谷 素子 《介護の現場で学んだこと》

介護の仕事が好きでグループホーム・デイサービス施設「あおい」様に就業させてもらっています。利用者さんのパワーをもらいながら一日が早く過ぎ、楽しくお仕事に就いています。ホームでは皆さんとても仲良く、お互いをねぎらう気配りが随分あり、一家族のようです。食事、洗濯、掃除などができる利用者さんは自分から進んでお手伝いして下さいます。また、夏祭り、敬老会、お花見、お月見、お誕生会など時節の行事もあり、その都度、楽しく一緒に準備します。利用者さんの昔話に私も共感する内容がたくさんあり、そんな時、つながりを感じます。昔の苦難の時代を忘れる事なく話される表情にはいきいきとした力強さが伝わって来て、私達スタッフは素晴らしい知恵をもらって勉強させられます。ホームでは少しでも家庭的な雰囲気です。日々を送っていただきたいと願い、私も笑顔と優しい言葉で接して楽しく毎日を暮らして欲しい気持ちでお仕事をさせていただいています。



*一人ひとりの自由と意思を尊重し自立を助け、その人らしい生活が送れるよう努めます。
*日々介護技術の向上に努め、明るく笑顔で接します。



NPO法人総合スポーツクラブ いなべ市体育協会

[住所] 員弁町楚原936番地

● 法人の沿革及び概要

平成15年12月のいなべ市合併と同時に、それまで4町にあった体育協会が合併し、いなべ市体育協会として発足しました。その後、平成20年9月8日には特定非営利活動法人(NPO法人)として認証され、現在に至っています。協会は、23の種目協会とスポーツ少年団などによって構成されており、年間を通して各種大会を開催し、多くの市民の方が参加されています。



● シルバー人材センターとの連携

員弁運動公園体育館は午前9時から午後10時までが開館時間となっています。午後4時から午後10時まででは、シルバー人材センターから派遣された会員の方に常駐していただき、員弁町内の体育施設の使用申込の受け付けをしたり、各施設の管理をしてもらっています。不特定多数の方が来館されますが、来館される市民の方に対して好感ある対応をしていただいています。今後も、今以上の楽しい雰囲気づくりに協力していただければと思います。

会員の声 ▶ 近藤 雅孝

員弁運動公園の施設管理の仕事です。本年度よりインターネット(予約システム)が導入され、不慣れでまだまだ大変ですが頑張っています。仕事は体育施設の利用受付、施設の点検・戸締りなどいろいろありますが、スポーツを行う若い利用者、スポーツ少年団の子どもたちとの会話も楽しいところです。これからも利用者が気持ちよく施設を利用できるように努めていきたいです。



いなべ市藤原文化センター

[住所] 藤原町市場493番地1

● 施設の概要

藤原文化センターは平成元年4月、藤原町民の保健体育・福祉の増進・社会教育の支援を基軸に、『藤原図書館』を携えて総合文化施設として開設されました。そして、〈出会い・ふれあい・集い〉を合言葉に町内外を問わず親しまれ、平成15年12月には、市制の合併を経て「いなべ市」が発足したのを機に、名実ともにいなべ市北部地域に君臨する文化・体育の継承拠点の地位を確保し市民から愛され続け



ております。また平成24年4月に『藤原岳自然科学館』が館内に移設され、大自然への誘いの場として、さらには藤原山系の玄関口として大いに役割を發揮しています。

● 会員の就業実態

3名の会員が交替で、平日は17時から22時まで、土・日・祝日は8時30分から22時の間、窓口での受付業務を実施。来館者との接遇が中心ですが、施設の予約管理も代行しています。

会員の声 ▶ 羽場 正信

受付業務での接遇の基本は、誠実・親切・言葉づかい。これらを自分の武器にして、老若男女を問わず数多くの方々と接し、ジャンルの異なる人たちと知り合う事ができて、多分、知らずして無形財産になっていると思います。



安全適正委員会だより



いつもの作業も 気を緩めず 打合せの徹底を!

安全適正委員長 門脇 敏男

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様、日頃は各種の安全・適正就業の取り組みにご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。また、役職員をはじめ各種業務担当の方々には、早朝の街頭指導、安全就業パトロールなど大変お世話になりありがとうございます。今後も一層のご協力をお願いいたします。

さて、平成24年度も9ヶ月が過ぎ、各職群作業も順調に行われています。

しかしながら作業での賠償事故が多く発生しております。中でも除草作業においては、飛び石による車の破損事故が多く発生しました。防護ネットの使用を怠った時 また、作業が進むにつれ車を移動させた時などに発生しております。

安全適正委員会では 作業前の打合せ、安全装具の装着などの徹底を行うよう注意喚起していきます。

シルバー会員にとって事故は他人事ではなく、いつどこで自分自身に降りかかって来るか誰も予測することは不可能です。常日頃から安全基準を守り、健康管理を十分行って無理をせず楽しく働けることに感謝し、充実した1年になるよう祈念いたします。



安全適正就業研修会



除草班会議



安全パトロール

いきいきフェスタ2012



紹介コーナー

平成24年10月26日、県総合文化センターにおいて県シ連主催の「シルバーいきいきフェスタ2012」が県内800名参加のもと、盛大に開催されました。このフェスタは地域に貢献する団体として、シルバー人材センターをPRし、事業の拡大と普及啓発を行うことが目的です。いなべ市シルバー福祉班も会員50名参加のもと、パネル展示、手作りの洋菓子・手工芸品のバザーを行い好評でした。また、鈴鹿市シルバーによる企画提案方式事業「健康講座」について会員経験発表や、伊勢市シルバーの福祉・家事援助班による踊り・体操「和&輪」、四日市シルバー福祉班「ワンデー体操」などのアトラクションに会場はおおおいに盛り上がりました。また午後は、元力士「舞の海秀平氏」による「可能性への挑戦」のテーマで講演がありました。大型力士と戦い続けた現役時代のエピソードや挑戦し続ける



バザー風景



講演風景

ことの大切さ、また相撲界のしきたり、舞台裏などの話をユーモアを交え、興味深い内容をおりませながら分かりやすく観客が飽きることなく講演されました。シルバー世代を元気に楽しく生きていくにはあまり考えすぎず、悩まないでいる程度「いい加減な人生」も大切であると共感させられる内容でした。

(福祉班 まごころ会 担当：水谷 史子)

トピックス

スクールバス事業現況と教育委員会の視察について

平成16年6月の法改正（高齢者等の雇用の安定等に関する法律）に伴い、シルバー人材センターが派遣事業を実施することができるようになり、県下シルバーの中でもいち早く福祉バスと、スクールバスの派遣事業に取り組んでいます。

10月17日いなべ市教育委員会の委員の皆さんと教育委員会事務局並びに担当者12名の方々の視察があり意見交換などをいたしました。

一日の運行の流れや危機管理（台風・地震・積雪）や運行前の点検内容、登校帰庫の全員朝礼の内容、毎月の管理者会議内容や、備え付け諸書類などを説明させていただきました。

現在管理事務2名（内1名教育委員会臨時）・運行管理者1名・運行管理補助1名・運転手10名のスタッフで運行を実施しています。

まず運転手になるにはシルバー入会説明会を受講し、面接に合格された方は独立行政法人自動車事故対策機構で1日運転適正の講習会を受講し、健康診断書を提出後正式採用させていただいています。

一日の運行の流れとして、管理者1名、運行管理者また補助者1名、中学校運転手1名は早朝6時20分に出勤し、順次小学校担当運転手の方々が7時に出勤されます。

その日の運行時刻表に基づき管理者がアルコール検知、健康状態聞き取り、免許証のチェック、服装チェックを実施し、運行管理者また補助者が車両運行前点検として、20項目の点検内容をチェックし、出庫時間に員弁西小学校3台・十社小学校5台・小学校と中学校兼務1台が、各生徒の乗る場所に出発し学校まで大切な生徒たちを安全運転にて責任を持って送っています。

各車両が帰庫後、全員朝礼を行い登校時の車両の注意点や生徒の注意点、道路修理などを聞き最後に事故防止と安全運転の意識づけのため全員で安全スローガン「①広げようどうぞの気持ちと車間距離 ②よく見よう車と自転車信号待ち ③止まっている車の影に危険あり ④歩行者を気遣いやさしく踏むペダル」の4つのスローガンを唱和し登校運行を終了しております。

午後は2時ごろより生徒たちの下校の迎えに出勤し、登校と同じように点検などを実施し最終は小学校は17時ごろ、中学校はクラブ活動もあり19時前後に帰ることができます。

また教育委員会臨時職員の方には、各学校の日々時刻運行表作成や学校や教育課との連絡、車両点検表の手入れ、車両点検期限などの管理・経費支払事務などをやっていただいています。

毎年全体会議を、警察指導や教育委員会指導など2回程度実施し、今年度は再度地震、台風、積雪時の運行取り扱いについて、学校教育課の職員より詳細に説明をいただきました。その後、事故発生後の緊急措置の再徹底などについて事務局より説明し、毎月の会議は、管理者・運行管理者・運行管理補助者・各学校運行責任者の会議を実施しております。



スクールバス事務所スタッフ

この業務を教育委員会より受託し、生徒を如何に安全に送迎するかにかかっています。大変責任ある事業であり毎日細心の注意を払って管理しています。幸いにして全員シルバーの「自主・自立、共働・共助」の理念を守り、開業より1,030日間の長期に亘り、無事故、無違反で安全運行を連続し、この記録をどこまで延ばせるか全員が日々挑戦し、頑張っている現状です。

（スクールバス事務所：森田 勝利）



視察風景

私たちは巳年生まれです **年男年女の抱負**



二井 加代子 (員弁)

明けましておめでとうございます。少しでもお手伝いのできる事があればと思っていた時に声をかけていただき、福祉班(福祉・家事援助・子育て支援)に入っています。放課後児童クラブ(学童保育所)いわゆる「学童」の子どもたちの宿題を見たり、いっしょに遊んだりして、私は元気をいっぱいもらっています。これからも、研修を重ねて、福祉班の会員の皆さんとの親睦を深め合い、少しでもお役に立てることにつとめたいと思います。



近藤 武博 (北勢)

皆様明けましておめでとうございます。初春のお喜びを申し上げます。太平洋戦争勃発の1941年この世に生まれて早くも72歳、光陰矢の如し、つくづく感慨深く思います。私、現在シルバー人材で福祉バスを経てデイケア(介護)の送迎バスの仕事をさせていただいています。私たちを取り巻く今の生活環境はグローバルで、IT機器一色でしかもスピード化され、ついていくのが大変な状況になりつつあります。泰然自若と言うより、まな板の鯉の気分、幾分自虐的ですが…。残る第二の人生を共に二人三脚で歩き続けてきた妻とそして地域の人たちに感謝して今年も元気に明るく、一日一日を大事に生きていこうと思っています。



日沖 脇子 (大安)

会員の皆さま、明けましておめでとうございます。私は7周目の干支を迎え、あっという間に過ぎ去った年月を懐かしんでいます。昨今では「四つの事」に参画し、カレンダーが予定で埋まる程の忙しい日々を楽しんでいます。シルバーから月3~5回の「草取り」に参加し、家の畑では野菜作りに挑戦し「うりぼう」へも出荷しています。地域の活動では元気体操とグラウンドゴルフに参加し地区内はもちろん遠征にも出かけています。今年も、草取りの出来ばえやうりぼうでの売れ具合を心配したり、元気体操の遠征はどこになるのか? ゴルフスコアを縮められないか? などと少し緊張して楽しみたいと思っています。やはり私には「忙しい日々と少しの緊張」が合っているのかもしれない。



井後 あさを (北勢)

明けましておめでとうございます。シルバーの会員になって2年、工場の清掃の仕事をさせていただいています。会社の方々の温かい言葉や心づかいが嬉しく、綺麗な所はより綺麗に、汚れている所は綺麗にと常に心がけています。そして高齢化している中で地域でのミニサロンが月2回あり、認知症予防のための頭と体を使った簡単なゲーム・歌・脳トレ・ラジオ体操など、地域での活動にも参加し、元気・笑顔・思いやりの気持ちで新しい年を健康で迎えらる事に感謝し、生きがいを持って社会・地域の一員として貢献できる事に喜びを持って頑張れたらいいなと思っています。



三好 成之 (藤原)

皆様方におかれましては、新しい年を希望を持ってお迎えされた事と心よりお喜び申し上げます。一昨年古希を迎えた事を契機にボランティア活動がしたいと思っていたところ、シルバー会員の誘いを受け、入会し、会員としての活動をさせていただいています。働く事の喜びだけでなく、ボランティア活動、各種同好会や四季折々の親睦の会など、生き甲斐を持って参加できる事に心より感謝すると共に多くの素晴らしい知人、友人ができて私の財産として大切にしたいと思っています。



伊藤 羨皓 (大安)

会報に寄稿するなど辞退すべきところですが、おめでたき新年号ゆえにお許しください。シルバーでは、冬場だけJAの灯油配達をさせていただいています。期間中は時間超過するほどの忙しさですが、各ご家庭の「暖かい冬」に貢献していると思い頑張り甲斐があります。特段の趣味を持っていない私にとってその他の時期は、近隣の仲間との稲作営農に参画し、その合間には家内と野菜作りをして市場出荷や自家用にと楽しんでいます。今後も、私の楽しみであり健康法でもある「忙しく働くこと」を継続していきたいと考えています。

互助会だより



互助会会長
近藤 勝敏

新年あけましておめでとうございます。

互助会会員皆様におかれましては、新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。平素は会員互助会活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

厳しい現状の中、会員互助会も、皆様のおかげをもちまして、シルバーの日の奉仕作業、親睦旅行、通学児童の見守りをはじめ、同好会も活発に活動していただきました。

皆様が健康で、生き甲斐を持って働くことができ、福祉の向上に寄与し「自主・自立、共働・共助」の基本理念を心がけ、地域班の活動および同好会活動の充実と、会員相互の融和と親睦を心がけ、地域に愛されるシルバーでありたいと思います。

本年もご支援賜ることをお願い申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

平成24年度互助会活動報告

「シルバーの日」奉仕作業

10月20日(土)『シルバーの日』ほか、各地区の小学校や保育園の除草、剪定・清掃など234名が参加しての奉仕活動を行いました。

地域班ボランティア活動

交通安全週間の春(H24.4.10)、夏(H24.7.17)、秋(H24.9.25)、冬(H24.12.18)の4回15地域班互助会の役員、班長、世話人などによる街頭指導をして通学時の交通安全の見守り活動を実施しました。

親睦旅行《焼津黒潮温泉ホテル・アンビア松風閣と焼津さかなセンター》



新しく開通した新東名で焼津へ、松風閣で昼食宴会と入浴。駿河湾を一望できる露天風呂から、富士山は一部しか見ることができませんでした。帰路は焼津さかなセンターでお土産をいっぱい買いました。

- 10月24日(水) 大安・員弁支部会員 … (バス3台)
 - 10月25日(木) 北勢・藤原支部会員 … (バス3台)
 - 10月28日(日) 4支部混合 …………… (バス1台)
- 合計227名が参加しました。

同好会活動

歩こう同好会



- 秋季歩こう会
H24年10月9日開催42名参加
- 養老山系県境の番所跡、田代・樽沢池や石津御嶽神社を訪ね、歴史と当時の人々を偲ぶ機会に触れました。天候も良く濃尾平野を堪能しました。
- 春季歩こう会はH25年3月予定

パークゴルフ同好会



- (第1回大会)
H24年6月28日 開催
26名参加
- (第2回大会)
H24年12月8日 開催
29名参加
- 多くの皆様の参加をいただき、楽しくなごやかなひとときを過ごしました。

パソコン同好会



- H24年4月～25年3月
毎週水曜日
13:30～15:30
- パソコンについて仲間できいろいろ考え勉強しています。パソコンで分からない、できない事があればお越しください。

事務局だより

シルバー人材センターはこんな仕事をしています

皆さん、ご存知でしょうか？市内を走る福祉バス・スクールバス・学校給食を運ぶ車、これらのハンドルを握るドライバーはいなべ市シルバーに登録されている会員です。

現在760名が、今まで身に付けた豊富な経験を活かし、色々な仕事に就いています。

★仕事の内容は

- ① 専門技術群 … 自動車運転、ボイラー保守点検 など
- ② 技能群 …… 剪定、大工仕事 など
- ③ 事務群 …… 宛名・賞状書き など
- ④ 管理群 …… 体育館などの公共施設管理 など
- ⑤ 折衝外交群 … 配達、検針、ポスティング など
- ⑥ 一般作業群 … 除草(草刈・草取り)、屋内外清掃作業 など
- ⑦ サービス群 … 家事援助(食事作り・洗濯・清掃) など

*お盆前の除草や、お正月前の剪定作業は、特に作業時期が集中して混み合います。限られた会員で予定を立てますので、余裕を持ってお申し込みください。

*高所での作業など危険と判断する場合は、お断りすることもありますのでご了承ください。

★仕事の頼み方は

事務局までお電話(☎82-1800)ください。担当者が作業内容を詳細にお聞きし、お請けできるか判断し、依頼内容に相応しい会員を紹介させていただきます。作業終了後、事務局から事務費(8%)を加算した額を請求させていただきます。

★会員になるには

シルバーとして就業するには、まず会員になっていただく必要があります。『入会説明会』にて、シルバーの趣旨・守っていただくこと・就業の際に提出していただく必要書類などの説明を受け、ご理解いただいたからの入会となります。

入会説明会
(今後の日程)

日時	1月21日(月) 2月18日(月) 3月18日(月)	いずれも
	4月15日(月) 5月20日(月) 6月17日(月)	午後1:30~
場所	北勢福祉センター 2階 会議室	

特定公益法人への寄付金のお礼

いなべ市シルバー人材センターは、高齢者や地域への貢献が極めて大きいことから『特定公益増進法人』として認められています。ご寄付いただいた皆様には、法人税や所得税における税法上の優遇措置が得られます。頂戴した寄付金はいなべ市シルバー人材センターの事業推進に有効に活用し、高齢者が生きがいと誇りを持って地域に貢献しながら働くことに役立てていきます。

平成24年度12月までにご寄付いただいた方々は次の皆様です。

(敬称略)

太平洋セメント株式会社	川瀬 典男 (前事務局長)
共栄堂印刷株式会社	有限会社山本儀八商店
豊文舎	小寺 薬品
マルギ繊維株式会社	東海システムアンドサポート株式会社

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

輝ける良きお年をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

今年も健康に留意され、地域に輝くシルバーパワーで、信頼され、喜んでいただける仕事をモットーに活躍されることを願っています。

今後も皆さんに愛読される会報作りに努めます。皆さんの情報をお待ちしています。

(二井 正)